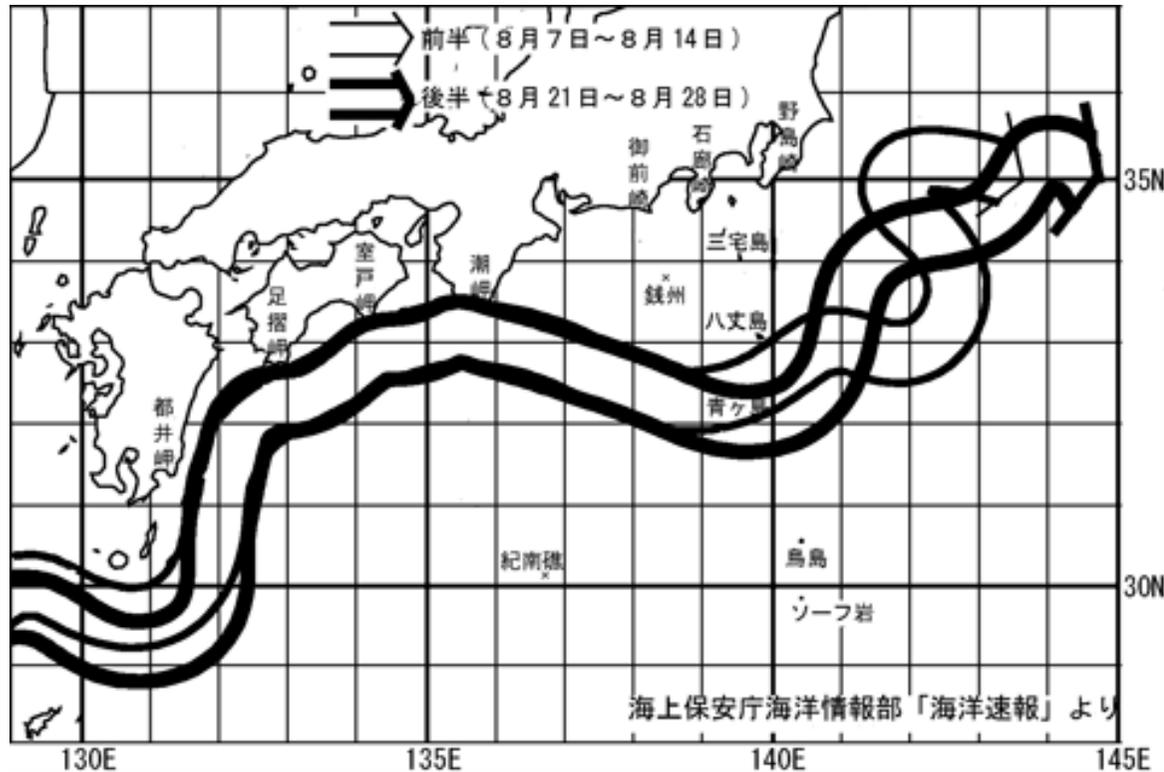


漁海況月報

平成19年 8月1日

No. 8 ~ 8月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産技術研究所伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	24.1	23.5	24.0	25.7	26.4	25.2	25.0
	-0.8	0.3	0.3	0.3	1.2	-0.1	-0.6
中旬	26.0	25.5	25.2	26.8	27.9	27.2	26.8
	0.8	1.4	0.9	1.1	2.2	1.6	0.9
下旬	25.9	23.9	24.3	26.3	27.0	26.5	25.3
	0.8	-0.4	-0.2	0.3	0.9	0.8	-0.6
月	25.3	24.3	24.4	26.2	27.0	26.3	25.7
	0.3	0.4	0.2	0.6	1.3	0.8	-0.2

【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州東岸から潮岬にかけて接岸し、石廊崎沖 32° 30' N 付近まで離岸した後、八丈島の南を通り 142° E 付近を北上した。

月後半の黒潮は、九州東岸から潮岬にかけて接岸し、野島崎沖 32° N 付近まで離岸した後、八丈島の南を通り 141° E 付近を北上した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 21~27°C 台、駿河湾東部では 24~28°C、西部では 23~28°C 台で経過した。

中下旬、伊豆半島東岸から伊豆諸島部にかけて冷水域がみられた。しかし、中旬においては、相模湾、駿河湾とも湾奥部の高温化がみられ、各地ともやや高めから高めの水温となった。その他の時期は、各地ともやや低めからやや高めで推移した。

【竿釣近海カツオ】

8月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は 97 トンで前年同期の 82% であった。魚価は 261 円/kg で、前年同期の 124% であった。

静岡県船は八丈島、鳥島周辺で小、極小、中カツオを中心に漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
19年 8月上旬	53	10	5.3	260
	28	5	5.6	246
	17	4	4.1	282
19年 8月計	97	19	5.1	261
18年 8月計	118	23	5.1	211
17年 8月計	157	29	5.4	223

【定置網】

平成19年8月、伊豆半島東岸大型定置網8か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は 239 トンで、操業がなかった赤石を除く 1 漁場当たり水揚量 34.1 トンは前年 39.3 トン（7 漁場）の 87%、平年値（昭和 57~平成 18 年）47.7 トンの 71% であった。

魚種別漁獲量は、①サバ類 54.8 トン（A：前年同月比 39%、B：平年同月比 36%）②マルソウダ 39.7 トン（A：85%、B：178%）③マアジ 23.6 トン（A：206%、B：105%）④マイワシ 22.0 トン（A：433%、B：58%）⑤ワカシ 15.8 トン（A：922%、B：271%）の順であった。

サバ類はゴマサバ中心で、古網、川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは 30cm と 37cm にみられたが、21cm をモードとする 0 歳魚と思われる群もみられた。マルソウダは川奈、古網を中心に入網し、尾叉長のモードは 31cm にみられた。マアジは伊豆山を中心に入網し、尾叉長のモードは 9cm、15cm と 21cm にみられ、0 歳魚、1 歳魚中心に漁獲されていたと考えられた。マイワシは古網、川奈を中心に入網し、被鱗体長のモードは 15cm であった。ワカシは古網を中心に入網し、伊東市場で測定された尾叉長のモードは 35cm であった。

漁場別水揚量は、古網 84 トン（サバ類、マルソウダ、マイワシ、ワカシ中心）、川奈 52 トン（サバ類、マルソウダ、マイワシ中心）、北川 24 トン（サバ類、マルソウダ中心）の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港には棒受網によって前年同期（530 トン）を大きく下回るゴマサバ 276 トンが水揚げされた。上・中旬の漁場は中ノ瀬（渡り）主体に、下旬には三本周辺海域に形成された。水揚げされたゴマサバは尾叉長 29～32cm のものが主体であったが、上・中旬には 21～25cm のものがわずかに混じった。ゴマサバの 1kg 当たりの平均単価は 60 円で、極端な安値となった前年（前年同期：40 円/kg）を上回った。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1 隻当り (トン)	漁 場
平成19年 上旬	91	3	6	15.2	中ノ瀬（渡り）
8月 中旬	11	1	2	5.6	中ノ瀬（渡り）、新島背戸
下旬	174	5	10	17.4	三本
計	276	9	18	15.4	-----
平成18年8月	530	12	24	22.1	三宅、中ノ瀬
平成17年8月	788	13	31	25.4	銭洲、中ノ瀬、三宅、新島、高瀬

[シラス船曳網]

1日1か統当りの漁獲量は、駿河湾では 230kg、遠州灘では 253kg で、主要 6 港平均では 245kg と前年同期(586kg)の 42%、平年同期(過去 5 か年平均: 331kg)の 74%と前年及び平年を下回った。総水揚量は 477.0 トンで前年同期(992.1 トン)の 48%、平年同期(633.2 トン)の 75%であった。平均単価は 753 円/kg と平年同期(736 円/kg)をわずかに上回った。

シラス水揚量（主要 6 港）

漁 港	水揚量 (ト)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	34.7	14	180	193	640
舞 阪	161.9	14	573	282	760
福 田	98.6	13	337	293	718
御前崎	31.2	14	199	157	752
吉 田	58.2	14	351	166	634
静 岡	92.5	14	304	304	894
平成19年8月計	477.0	83	1,944	245	753
平成18年8月計	992.1	80	1,694	586	355
平成17年8月計	1,102.2	94	2,324	474	628

[まき網]

小川港ではマイワシが 0.7 トンと、平年同期（52.5 トン）を大きく下回った。沼津港ではマイワシが 43.5 トンと、平年同期（102.6 トン）を大きく下回り、カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期 11.1 トン）。静岡港ではマイワシの水揚げは 0.9 トン（平年同期 6.4 トン）で、カタクチイ

ワシの水揚げはなかった（平年同期 118.3 トン）。
注）平年同期：過去 5 か年(2002～2006 年)平均

[調査船の動向]

富 士 丸	8月21日	～	8月21日	県民の日一般公開（小川港）	(1日間)
駿 河 丸	8月1日	～	8月1日	地先観測（駿河湾）	(1日間)
	8月6日	～	8月7日	サクラエビ調査(駿河湾)	(2日間)
	8月8日	～	8月10日	地先観測（駿河湾、遠州灘）	(3日間)
	8月21日	～	8月21日	県民の日一般公開（小川港）	(2日間)
	8月22日	～	8月24日	トラフグ調査(遠州灘)	(3日間)
	8月27日	～	8月28日	サクラエビ産卵調査(駿河湾)	(1日間)
	8月30日	～	8月31日	サバ調査(三宅島周辺海域)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/imode/index.htm>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA による海面の水温分布画像を見ることができます。

